

取扱説明書



安全上のご注意（必ずお読みください）

- ① 国土交通大臣認定書および（一財）日本消防設備安全センター評定書をよくお読みのうえ、適切な品番を選び正しく施工してください。
- ② 施工にあたっては適切な保護具を着用してください。
- ③ 施工後、開口部の周囲に貫通物以外の可燃物を置かないでください。
- ④ 国土交通大臣認定どおりに正しく施工されたことを表示するため、開口部周囲の見やすい場所又は貫通物に同梱の工法表示ラベルを貼り付けてください。
- ⑤ 「共住区画」の貫通部にご使用の場合は、適用可能な貫通物をご確認の上ご使用ください。施工後は（一財）日本消防設備安全センターの規定により、消防評定プレートの貼り付けが必要となります。本書の「消防評定プレート請求書」をご使用のうえ、弊社までご請求ください。なお、消防法施行令第8条に関わる「令8区画」には施工できません。
- ⑥ 消防評定プレートの貼り付けは、特定共同住宅に規定される建築物1棟あたり1枚となります。
- ⑦ 本製品に配管等の支持・固定機能はありません。別途、配管等の支持・固定を行ってください。
- ⑧ 本製品は屋内用です。屋外もしくはそれに準ずる環境下でのご使用はおやめください。
- ⑨ ご不明な点などありましたら、弊社までお問い合わせください。

製品仕様

品番	適用配管外径 (mm)	構成材料			
		HOLDサイズ	入り数 (個/袋)	取扱説明書 (枚/袋)	工法表示ラベル (枚/袋)
HD-S	13以上～32.3以下 ※1	S	10	1	10
HD-L	32.3超え～48以下 ※2	L			
HD-LL	48超え～69以下	LL			



※1 PS060WL-1153, KK2021-010号は外径33mmまで適用可能です。

※2 PS060WL-0675, KK25-006号, PS060FL-0625 および KK24-018号は、一部の配管で外径50.8mmまで適用可能です。

PS060WL-1153, KK2021-010号は外径50mmまで適用可能です。

※3 HOLDに内接する配管の外径を参考値として示します。

©本取扱説明書に記載の無い認定条件・評定条件の詳細や適用配管等についてはHPをご確認頂くか、弊社にお問い合わせください。

適用範囲

国土交通大臣認定番号	PS060WL-0305	PS060WL-0544	PS060WL-0675	PS060WL-1153	-	PS060FL-0298	PS060FL-0554	PS060FL-0625
(一財)日本消防設備安全センター評定番号	KK19-085号 KK19-086号	KK23-009号	KK25-006号	-	KK2021-010号	KK19-084号	KK23-016号	KK24-018号
品番	HD-S HD-L	HD-L HD-LL	HD-S HD-L HD-LL	HD-S HD-L	HD-L	HD-S HD-L	HD-L HD-LL	HD-S HD-L
構造	壁 RC, ALC, 中空壁	壁 RC, ALC	壁 RC, ALC	壁 RC, ALC, 中空壁	壁 中空壁	床 RC, ALC	床 RC, ALC	床 RC, ALC
厚さ	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上
開口面積	矩形	0.07㎡以下	0.07㎡以下	0.07㎡以下	0.0168㎡以下	0.0147㎡以下	0.07㎡以下	0.07㎡以下
	円形	φ310mm以下	φ300mm以下	φ220mm以下	φ80mm以下	φ74mm以下	φ310mm以下	φ220mm以下
埋め戻し材	セメントモルタル			シリコーンシーリング材		セメントモルタル		
配管1本に対するHOLDの使用数量	1個			2個		1個		

① 認定、評定番号により適用可能な品番が異なります。適用範囲をご確認のうえ、正しく施工してください。

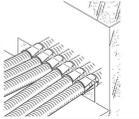
施工上の注意事項

- 国土交通大臣認定書および（一財）日本消防設備安全センター評定書記載の適用範囲および適用配管をご確認のうえ、正しく施工してください。
- 配管の外径によりHOLDが配管を1周覆うことができない場合がありますが、耐火性能上問題ありません。
- 消防法における「共住区画」では、開口部相互間距離は、開口部の面積を円に換算し、大きいほうの円の直径以上（直径が200mm以下の場合には200mm以上）が必要となります。
- 消防評定では、同一開口に複数本の配管が貫通する場合、その本数と組み合わせに制限がありますので、詳細は消防評定書をご参照ください。

施工手順・モルタルで埋め戻す場合

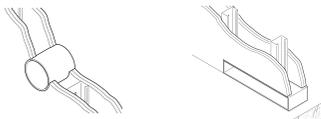
1 施工条件の確認と開口部の準備

モルタル埋め戻しの際に、配管周囲にモルタルが充てんできないよう配管周囲に10mm以上の隙間を設けることをご考慮の上、開口を設けてください。
PS060WL-0675, KK25-006号, PS060FL-0625 および KK24-018号では、配管を並べて施工することが可能です。



2 開口補強枠の設置（中空壁の場合）

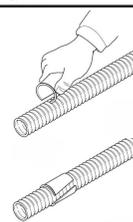
中空壁への施工の場合は、鋼製（板厚0.3mm以上）の開口補強枠（スリーブ）を入れてください。その際、開口と開口補強枠との間に大きな隙間が生じないようにし、微小な隙間は、せっこうボード用の目地材などで丁寧に隙間埋めを行ってください。



3 HOLDの取り付け

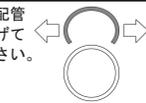
配管の外径に応じた品番を選定し、HOLDを配管に取り付けてください。

- ① モルタル埋め戻しの際に、配管とHOLDの隙間にモルタルが入らないように、HOLDをできるだけ配管に密着させてください。
- ② 取り付けの際にHOLDを広げすぎると破壊する恐れがあります。



取り付けにくい場合

HOLDを配管サイズに広げてご使用ください。



粘着テープ使用の例

ビニールテープなどで固定すると簡単に施工できます。



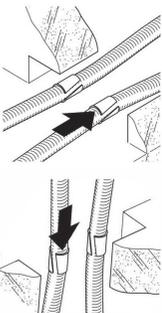
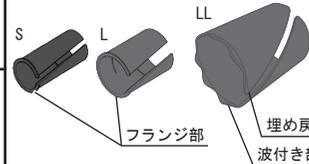
だ円形状の配管（さや管など）に取り付ける場合

配管の幅狭い方向からHOLDを取り付けてHOLDを回し、配管の幅広い部分をHOLDでカバーしてください。



4 HOLDのスライド

配管に取り付けたHOLDのフランジ部（SサイズおよびLサイズ）、埋め戻し線（LLサイズ）が開口部の床上面、床下面または壁面と同一面になるように、かつ、開口部の中に納まるようにHOLDをスライドさせてください。スライドさせた後、HOLDが配管に密着していることを確認してください。

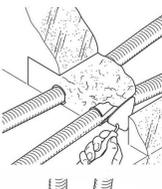


① PS060FL-0625 および KK24-018号のみ、床上面の施工ができます。

5 モルタル埋め戻しと施工確認

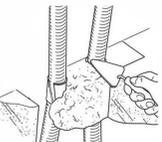
開口部と配管の隙間に、床または壁厚さ方向で100mm以上をモルタルで埋め戻してください。中空壁の場合は、壁厚半分を埋め戻してください。

埋め戻しの際はモルタル受けを設置して、モルタルが漏れないような処置をしてください。モルタルが硬化した後、モルタル受けを取り外して埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。

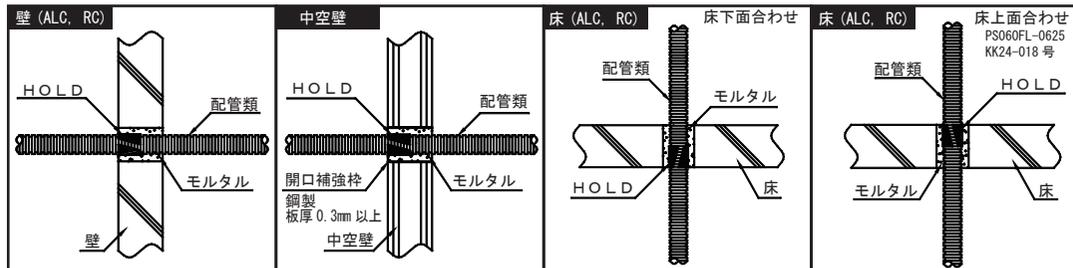


① モルタル埋め戻し後に、HOLDのフランジ部（HD-S, HD-L）または波付き部（HD-LL）が見えるように埋め戻してください。

② 埋め戻しは、隙間が生じないように密に充てんしてください。



施工断面図

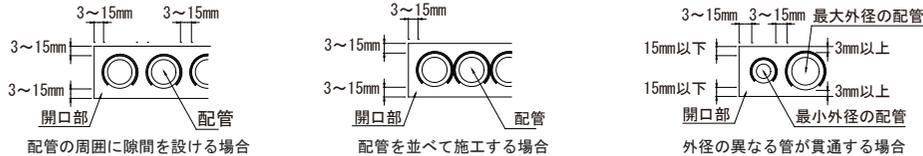


施工手順・シリコンシーリング材で埋め戻す場合

1 施工条件の確認と開口部の準備

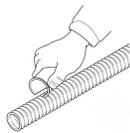
①シリコンシーリング材で埋め戻す場合は中空壁に開口補強枠（スリーブ）を設置する必要がありません。壁面両側にHOLDを施工するため配管1本あたりにHOLDを2個使用してください。PSO6OWL-1153はHD-S、HD-Lが適用可能です。KK2021-010号はHD-Lのみが適用可能です。

壁と配管の隙間、配管と配管の隙間（クリアランス）が3～15mmになるように開口を設けてください。配管を並べて施工することが可能です。開口に外径の異なる配管が貫通する場合は配管と壁の上下の隙間は最小外径の配管から15mm以下、最大外径の配管から3mm以上とします。また、配管と壁の左右の隙間、配管と配管の隙間は3～15mmになるように開口を設けてください。



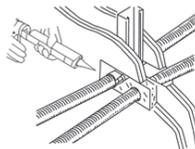
2 HOLDの取り付け

配管の外径に応じた品番を選定し、HOLDを配管に取り付けてください。



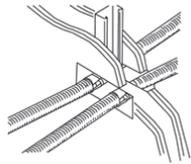
4 シーリング材の埋め戻し

開口部と配管の隙間にシリコンシーリング材を壁厚方向25mm以上埋め戻してください。



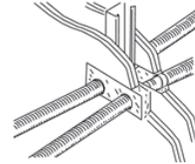
3 HOLDのライド

配管に取り付けたHOLDが壁内に半分以上（25mm以上）埋まるようにHOLDをライドさせて設置してください。ライドさせた後、HOLDが配管に密着していることを確認してください。



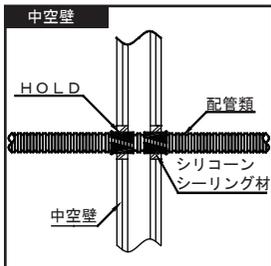
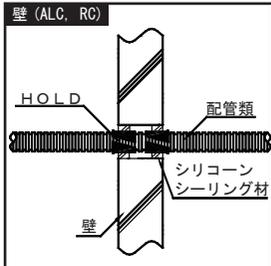
5 反対側の壁面からの施工

反対側の壁面からも2～4の手順と同様にHOLDを設置し、開口部と配管の隙間にシリコンシーリング材を壁厚方向25mm以上埋め戻してください。HOLDが正しく施工されていることを確認してください。



①壁面からHOLDを25mmまで突出して施工できるのは、シーリング材で埋め戻す場合のみです。

施工断面図



配管種類と対応品番

品番	HD-S	HD-L	HD-LL		
適用配管外径 (mm)	13 以上～ 32.3 以下	32.3 超え 48 以下 (50.8mm×1)	48 超え 69 以下		
給・排水 配管サイズ（呼び径）	合成樹脂製可とう電線管 (CD 管)	14/16/22	28/36	—	
	さや管	5mm 被覆付	16/18/22/25	28/30/36	—
		10mm 被覆付	—	16/18	22/25/28
	架橋ポリエチレン管	5mm 被覆付	10/13/16/20	25	—
		10mm 被覆付	10/13/16	16/20/25	—
	エラストマー被覆付架橋ポリエチレン管	—	10/13/16/20	—	
	水道配水用ポリエチレン管	—	—	—	
	給水用高密度ポリエチレン管	20	30/40	50	
	ポリブテン管	5mm 被覆付	10/13/16/20	25	—
		10mm 被覆付	—	10/13/16/20	—
	エラストマー被覆付ポリブテン管	—	—	—	
	ポリプロピレン管	—	—	—	
	金属強化 ポリエチレン管	10mm 被覆付	10/13/16/20	—	—
		20mm 被覆付	—	10/13/16/20	—
	銅二層管	10mm 被覆付	—	10/13	—
		20mm 被覆付	—	—	10/13
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, H1VP, HT)	—	—	—		
結露防止層付硬質塩化ビニル管	13/16/20/25	30/40	50		
塩化ビニル被覆付 ステンレス鋼フレキシブル管	—	20	25/30	40	
	8/10/15/20/25	—	—	—	
合成樹脂製可とう電線管 (PF 管)	—	—	—		
硬質塩化ビニル電線管	14/16/22	28/36	—		
電気	14/16/22	28	—		

消防評定プレート請求書

下記枠内にご記入の上、現場単位毎にFAXにてご請求ください。

請求書送付先：株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部 ラベル係 行
FAX：0463-24-9346

施工場所と施工完了のご確認

現場件名	建物用途		
所在地	〒 -	都道 群 区	府県 市区 町 丁目 番号
施工場所	<input type="checkbox"/> 住戸等—共用部 間 <input type="checkbox"/> 住戸等—住戸等 間 <input type="checkbox"/> 共用部—共用部 間 いずれかにチェック☑を付けてください。令8区画の貫通部にはご使用できません。		
ご署名 (自筆)	当該施工場所に対し、取扱説明書、施工要領書および評定書に基づき正しく 施工が完了された事をご確認の上、ご署名およびご捺印してください。		

ご請求枚数

消防評定プレートご請求枚数 共同住宅特例に規定される建築物一棟あたり各工法1枚となります。	KK19-085号 (壁, 共住)	枚
	KK19-086号 (壁, 共住)	枚
	KK23-009号 (壁, 共住)	枚
	KK25-006号 (壁, 共住)	枚
	KK2021-010号 (壁, 共住)	枚
	KK19-084号 (床, 共住)	枚
	KK23-016号 (床, 共住)	枚
	KK24-018号 (床, 共住)	枚

送付先

貴社名	ご担当者		
ご住所	〒 -	都道 群 区	府県 市区 町 丁目 番号
連絡先	TEL: () -	FAX: () -	E-mail: @
	必要期日	月 日迄着 手続き+郵送期間をご考慮ください。	

- ご記入いただいた個人情報は、消防評定プレートの送付、施工確認等のご連絡および弊社製品・技術情報をお送りする目的のために利用し、その目的以外での利用はいたしません。
- ご請求の際は、現場状況の確認などのために弊社よりご連絡をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご希望の期日にお届けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。至急必要な場合は、送料をご負担して頂く場合があります。
- ご請求時にご不明な点がありましたら、弊社までお問い合わせください。

技術事項のご相談・お問い合わせは 防災事業部
 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号
古河テクノマテリアル
 TEL: 0463-24-9341 FAX: 0463-24-9346 E-mail: bosai@ftm.fitec.co.jp
 URL: http://www.furukawa-ftm.com/

取扱説明書、消防評定プレート請求書の内容は、製品改良などによりお断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。